

私たちの町議会

2025. 2.12

No. 270

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージし子どもを掲載しています。

厚生文教常任委員会

第14回

1/29水

●子育て支援課から芽室町こども計画案の説明があり、合計特殊出生率について、町の取組に対し質疑がありました。

また、病児保育について、町の取組状況の説明を受けました。健康福祉課所管の重層的支援体制整備事業について、相談者側に立った窓口体制の手法整備の意見、質疑がありました。高齢者支援課から、带状疱疹ワクチンの定期接種事業の説明があり、自己負担について5割相当を予定しているとの答弁がありました。3課から7事業について説明がありましたが、今後の委員会調査の必要性について委員共有しました。

第15回

1/31金

●生涯学習課から部活動の地域移行の進捗状況について、また、教育推進課から所管7事業の説明がありました。今後の委員会調査の必要性について委員共有しました。

また、病児保育について、町の取組状況の説明を受けました。健康福祉課所管の重層的支援体制整備事業について、相談者側に立った窓口体制の手法整備の意見、質疑がありました。高齢者支援課から、带状疱疹ワクチンの定期接種事業の説明があり、自己負担について5割相当を予定しているとの答弁がありました。3課から7事業について説明がありましたが、今後の委員会調査の必要性について委員共有しました。

総務経済常任委員会

第9回

1/22水

●芽室町上下水道事業経営戦略改定(案)について

令和10年度に使用料改定を予定していると示されました。上下水道は重要なライフラインであり、住民に直接影響のある案件でもあるので継続的に調査を行います。

●国際・地域間交流事業について

次年度のブラジルゲートボール連合との相互交流について、事業概要説明を受けました。

●町内会活動支援事業について

質疑に対して担当課から「町内会は最も身近で重要な地域コミュニティ」と答弁がありました。議会としても「地域コミュニティの在り方」について考える機会を企画しています。今後も継続的に調査を行います。

●定住促進事業について

質疑に対して担当課から「日頃の移住・定住相談で寄せられる要望を分析し、「課題」としてとらえ制度設計した。」と答弁がありました。町を維持するための政策としては、新規の移住者・既存の定住者ともに重要なので継続して調査を行います。

第3回モニター会議を開催しました！

1月30日開催した令和6年度第3回議会モニター会議は、12名のモニターに参加いただき、各常任委員会が1年間かけて調査研究を進めた「政策課題」について、手法や課題、成果等について「外部評価」をいただくことを目的に実施しました。

モニターのみなさんからは議会の取組については一定評価をいただきました。次年度に向けても関心のあるテーマについて多くの意見が出されましたので、今後、いただいた意見を各常任委員会での議論や調査、議会運営に反映させていきたいと考えています。次年度モニターも募集しておりますので、詳しくは最後のページをご覧ください。



合同委員会

芽室公園再整備において、町はPark-PFI(公募設置管理制度)の活用を検討していることから、1月28日に優良事例を実践している恵庭市を訪問し、取組について学びました。

恵庭市は、3つのPark-PFI事業を行っており、都市公園における民間資本を活用

した効率的な運営を行うことで地域の活性化を図っていました。

本町においても、令和7年度にPark-PFI事業者公募・選定を予定しており、委員会として今後も調査・研究を進めていく必要性を確認しました。



新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

新嵐山スカイパークのグランドデザインにおける室内遊戯施設の構想を議員間で共有するため、1月28日に優良事例を実践している南幌町の子ども室内遊戯施設「はれっば」を視察しました。

本施設は、子どもだけでなく地域住民全体が利用できる多機能複合施設として計画され、施設整備にあたっては、施設

を活用したまちづくりを目指し、地域団体等と意見交換を重ねるなどの取組を実施していました。今回の視察では、施設設備や町民等との合意形成など、具体的なイメージを共有する貴重な機会となりました。



視察調査レポート

先進自治体を視察することで町の中では知り得ぬ多くの情報を得ることができ、1月に行った委員会の視察・分析を報告します。

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

12/18水
第5回特別委員会

調査完了時期の共有図る

特別委員会の調査完了時期については、事業経費が明らかになった際の調査をもって完了することを確認しました。

また、第4回特別委員会(11月18日開催)において、町が「新たな土地利用」の中で「拠点機能」として構想を示した「屋内遊戯施設」について、現地視察を通じて調査研究を深めることを目的とすることや視察時期・視察先についても決定しました。

1/22水
第6回特別委員会

委員派遣の目的共有図る

グランドデザインの素案において、「新たな土地利用」の中で「拠点機能」として構想を示した「屋内遊戯施設」について、経営形態・事業手法・事業経費・費用対効果の視点で、この構想が妥当か否かを調査・研究することを目的として、南幌町子ども室内遊戯施設「はれっば」に全委員の派遣を決定しました。

1/30水
第7回特別委員会

グランドデザイン案固まる

町から、町民・各種団体への説明会やめむろ未来ミーティングなどで出された意見・要望を踏まえたグランドデザイン(案)が提示され、2時間を超える調査となりました。

議会からは、「嵐山に屋内遊戯施設がある意義」や「公園機能の費用対効果」等に関する質疑が出され、今後策定される基本構想・基本計画に向けて調査を進めていきます。

1月 一般会計総額は、
補正予算 144億2,281万7千円に

●一般会計補正予算(歳出)

項目	金額	主な事業
総務費	1億2,711万7千円	物価高騰対策社会福祉事業
民生費	771万4千円	子どもセンター運営事業
衛生費	829万1千円	病院事業会計負担金補助及び出資
農林産業費	7万7千円	環境保全型農業直接支援対策事業
土木費	689万9千円	町道・歩道・駐車場等除排雪事業
消防費	49万円	地域防災対策事業
教育費	704万3千円	児童生徒支援事業
公債費	3,811万3千円	基金管理事務
職員費	5,311万7千円	職員給与支払事務
予備費	721万5千円	
合計	2億5,607万6千円	

1月31日に開催した臨時会議では、道路陥没による車両の物損事故による損害賠償額の専決処分報告1件を受理しました。また、令和6年度各会計補正予算は予算決算特別委員会に付託して審議され、「原案のとおり可決すべきもの」と決定し、その後の本会議で可決されました。

1月 臨時会議

原案のとおり可決

審議した議案と各議員の賛否

種類	議案名	議員名														議決日		
		菊池 秀明	伊藤 稔	木村 淳彦	小倉 原 等	中田 智孝子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺 洋一	立川 美穂	中村 和宏	正村 紀美子	常道 直人	西尾 一則	鈴木 健亮		榎澤 幸治	
報告	専決処分について報告の件	採決はありません														受理		
議案	令和6年度芽室町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町上水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案	令和6年度芽室町公立芽室病院事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

○…賛成、×…反対、-…議長のため採決には加わりません 欠…欠席、遅…遅参、除…地方自治法第117条の規定による除斥

議会白書 議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名	日時	休憩時間	実質時間	議件	傍聴人数	ネット中継アクセス数	
							会議時間
本会議	1月臨時会議	1月31日	0:41	0:12	2	(149)	
全員協議会	第16回	1月30日	0:00	0:30	0	(209)	
常任委員会	総務経済	第9回	1月22日	0:21	1:51	1	(94)
	厚生文教	第14回	1月29日	0:18	1:40	4	45
		第15回	1月31日	0:27	1:53	3	(149)
合同委員会	第6回	1月22日	0:02	0:13	1	(94)	
	第7回	1月30日	0:32	1:56	1	(209)	
議会運営委員会	第23回	1月24日	0:51	1:12	1	19	
予算決算特別委員会	第11回	1月31日	0:02	0:37	2	(149)	
新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会	第6回	1月22日	0:00	0:05	0	(94)	
	第7回	1月30日	0:20	2:26	2	(209)	
編集企画会議	第9回	1月30日	0:00	0:30		※	
小計		16:39	3:34	13:05	計17	平均129.1	
第3回議会モニター会議	第1回	1月30日	0:00	1:30		※	
小計		1:30	0:00	1:30			
合計		18:09	3:34	14:35	計17	平均129.1	

() 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示 ※ インターネット中継を実施しなかった会議

町政のそこが聞きたい
一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

12月定例会議の一般質問には、6人の議員が登壇しました。紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



立川美穂 議員

生成AIの速やかな導入

- 1 生成AIの導入に係る基本的な考え方と今後の検討スケジュールは。
- 2 生成AIの具体的な活用分野、活用手法は。



手島 町長

- 1 生成AIの導入は、業務改善を進めつつ効果的な分野で試験導入し、段階的に適用範囲を広げる方針です。働き方DXプロジェクトチームを中心に議論し、来年度以降に導入する予定です。
- 2 生成AIは文書作成支援や事務処理の自動化に活用し、職員負担軽減を目指します。窓口対応には慎重に導入し、安全性や住民ニーズに配慮した運用を進める方針です。

芽室町では「芽室町DX推進ビジョン」を策定し、デジタル技術を活用した持続可能な行政運営と住民の利便性向上を目指しています。この一環としての「生成AI導入」について町長の見解を伺いました。町長からは、人材不足や業務の複雑化といった課題解決の手段として生成AI導入によって職員がより付加価値の高い業務に専念できる効果を期待しているとの答弁がありましたので、引き続きDX推進の経過を注視していきます。ちなみに今回の質問構成には、私自身も生成AIを活用しました。「未導入自治体首長が前向きになるような構成」をAIに指示して作成したところ、想定以上に前向きな答弁を引き出せたのは嬉しい誤算でした。

町道及び橋梁等の維持管理

- 1 町道の維持管理は今後もこれまでどおり可能か。
- 2 橋梁の長寿命化点検結果を受けて今後の橋梁の維持は。
- 3 除雪体制は現状を維持するのか。



早苗 豊 議員

- 1 一斉に更新時期を迎えており、限られた予算の範囲内で全面的な整備を実施することが非常に困難です。
- 2 農業用車両の大型化を踏まえ、集約化・撤去を検討しています。
- 3 今後においても現状の体制を維持していきます。



手島 町長

道路や橋梁など町が整備し管理する基礎的インフラについては高年度成長期以降に集中的に整備されてきました。それに伴い家用車の普及率も上がり物流の主役も鉄道輸送からトラック輸送に代わりました。道路は舗装され、雪がたたくさん積もっても翌朝には綺麗に車道が除雪されている日常が当たり前になっています。私達の生活は現状のインフラの整備状況の上になり立っているわけですから。この基礎的インフラの維持管理が蔑ろにされると今後どのような事が起こるでしょうか？予算の使い方を含め政策実行の優先順位を決めるのは行政機関です。未来を見据えたインフラ整備と予算措置は今後も必要です。

農地活用及び農業後継者対策

- 1 農地活用及び農業後継者対策に係る取組の成果・課題・展望は。
- 2 農業委員会の運営の課題と展望は。
- 3 農業を持続可能なものとするための農業委員会の取組の将来ビジョンは。



菊池秀明 議員

- 1 本町の農地は農業者の努力で維持されており、農業委員会は農地行政を適正に実施しています。将来的には担い手不足が懸念され、農業後継者対策として交流会や出会いの場作りを推進しています。
- 2 農業委員会は男女共同参画を進めており、女性委員の割合増加が課題です。農業委員の選任には経験が求められ、特に男性が多い現状では解決に時間を要するが、情報発信を通じて理解を深める努力を進めます。
- 3 農業委員会は農地の保全と持続可能な農業経営を支援し、土地改良や農業経営の安定化に努め、関係機関と連携して担い手育成や農業振興を進めます。



島部農業委員会 会長

一般質問を終えて
菊池 秀明

今回の一般質問では、農業委員会に農地活用および農業後継者対策について、これまでの取組と現状の課題認識の確認を行い、中長期スパンでのビジョンを問う形で質問しました。委員会の喫緊の課題認識は、農地活用では既存の営農者の規模拡大意欲が高く遊休農地の発生などの課題はないものとの見解でした。一方で農業後継者対策に関しては、年々農家戸数も減少しており取組を強化すべきとの認識でした。また、中長期スパンでは、遊休農地の発生や担い手不足は懸念されるとのことでした。農業委員会運営に関しては専門性が高く、若手や女性の担い手の育成における環境整備が望まれるところであり、各関係機関が足並みをそろえて課題解決に取り組んでいただきたい旨をお伝えした旨を質問とさせていただきます。

障がいのある人が地域で安心して生活できるまちづくり

- 1 基幹相談支援センターの設置のこれまでの取組経過、今後の課題と展望は。
- 2 グループホームなどの支援体制の整備のこれまでの取組状況、今後の課題と展望は。
- 3 町民同士がふれあう機会の充実についてのこれまでの取組状況、今後の課題と展望は。



渡辺洋一郎 議員

- 1 基幹相談支援センターは、障がい者が地域で安心して生活できるよう、市町村が設置する機関で、令和6年4月から設置が義務化され、本町では民間事業者へ委託し、令和7年4月からの設置に向け準備中です。今後は、全世代に対応した相談支援体制の構築と関係機関との連携強化を目指します。
- 2 障がい者福祉計画に基づき、グループホームの充実や住宅改修費助成を進め、令和7年4月に新しいグループホーム開設予定です。今後はニーズに応じた施設整備と事業者支援を強化します。
- 3 障がい者差別防止や理解促進のため、広報活動やイベント支援を実施しています。今後は障害者差別解消法の普及・啓発を強化し、町民の理解を深める取組を継続します。



手島 町長

一般質問を終えて
渡辺 洋一郎

発達支援システムや障がい者の就労支援をはじめ、芽室町は全国的にも進んだ取組をしていますが、今後に向けた相談支援体制など、課題もあります。次年度から、基幹相談支援センターの設置や重層的支援体制整備などが開始されます。障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で暮らし続けられる町は、誰にとっても住みやすい町になるはずですが、差別や偏見がない、多様性を認め合えるやさしいまちづくりを、私自身これからも取組んでいきます。

新嵐山スカイパークの経営理念／芽室公園の Park-PFI

- 1 町民が愛し誇れる場所となるために、どのような方策でこの実現を目指すのか。
- 2 新嵐山スカイパークの民間活力活用による効果と成果、また、これまでの運営実績を踏まえた新たに重視すべき視点は何か。
- 3 これまでの実績を踏まえ、今後の経費見込みと社会情勢が町財政に与える影響及びその対策は。
- 4 住民及び地元商工業への影響、課題、効果についての捉えと見直しは。
- 5 交通アクセスの背景を踏まえ、今後の協議や整備を経て事業をどう進めるのか。



鈴木健充 議員

- 1 新嵐山スカイパークの再生計画は、地域の健康増進と観光振興を両立させ、多世代が楽しめる施設として、町民に愛される場所を目指し、30年後も笑顔が集まる風景を創造することを目指しています。
- 2 新嵐山スカイパークの再生計画では、都市公園ゾーンと民間活用ゾーンを設け、民間活力を活用した安定的な運営と誘客促進を目指し、財政負担軽減と魅力向上を図ります。
- 3 施設整備の初期投資は基本計画で算出予定をしており、運営費の詳細は未定であり、民間活力や特定財源の活用により、町財政への影響を避けつつ効率的な整備・運営を目指します。
- 4 芽室公園の再整備に向け、Park-PFI活用を検討中であり、民間事業者と連携し、市場性調査を実施しており、収益を公園整備に還元し、整備費や維持管理費の削減が期待できます。
- 5 芽室公園の立地条件が市場性を高める要因と確認され、Park-PFI実現で人の流れが変化し、交通整備が必要となるため、関係機関と協議し整備を進める方針です。



手島 町長

一般質問を終えて
鈴木 健充

今回のグラウンドデザインの基本理念は、「町民が利用する場所」「子供からお年寄りまでたくさんの人が楽しめる場所」「町民が誇れる場所」「町民が愛される場所」に感じられる場所を魅力的に感じる場所にはなりません。これからは、訪れる人が、幸せを感じる新嵐山スカイパークを作りましょう。

2年前の一般質問で芽室公園の活用方法について、Park-PFIの導入の検討を町長と議論しました。芽室公園を有効活用することが、町民の憩いの場の増加によるまちの再生、地域消費の増加や町内業者への波及効果など、地域経済の活性化に繋がると考えます。

公園都市法、Park-PFIなど国の制度との連携を考え、町の財政負担の軽減し、住みやすい街を目指しましょう。

小学校におけるフッ化物洗口の導入

- 1 実施する目的及び期待する効果は。
- 2 集団事業の安全性・有効性についての見解は。
- 3 保護者、教職員への説明はどのように行い、理解を得ようとするのか。
- 4 働き方改革との整合性に関する課題と対策は。
- 5 実施予定時期とプロセスは。



堀切 忠 議員

- 1 令和7年度から小学校でフッ化物洗口事業を導入し、虫歯予防を進めます。この施策は、子どもの歯の健康維持と将来の健康的な生活を支援することを目指しています。
- 2 フッ化物洗口は50年以上実施され、安全性は医療用薬品として承認されており、効果的な虫歯予防手段とされています。特に、新潟県や本町では顕著な予防効果が確認されています。
- 3 フッ化物洗口の実施に向け、保護者説明会を開催しましたが参加者は少数でした。教職員には説明と視察を行い、今後は保護者への再通知やサポートを予定しています。
- 4 働き方改革として校務支援システム導入や30人以下学級編成、AIドリル活用、ICTの活用を進め、業務効率化や学力向上を図っています。
- 5 令和7年度予算に基づき、町内薬局との委託契約や保護者へのフッ化物洗口の周知、希望調査、歯科衛生士によるサポートを行い、5月から小学校で実施予定です。



程野 教育長

一般質問を終えて
堀切 忠

小学校における集団でのフッ化物洗口に対する不安が、保護者や教職員の間で少なからずある中で推し進めるのではなく、保護者や当事者である子どもたちへの丁寧な説明が大事です。

また、昨年、日教組が行った調査によると、道内の小中学校などの6割近くの教員が勤務日に休憩時間をまったく取れていないとの調査結果を公表しました。教員の働き方改革が叫ばれている中で、新たな負担、薬品を扱うという精神的な負担も大きいと考え、教職員への丁寧な説明、理解が何よりも大事と考えます。

むし歯予防には、「歯磨き」「食習慣」などの要素も大事です。これらを総合的に行うことが必要であると考えます。

地域の未来を変える!議会モニター大募集!!

あなたの意見が、議会を動かす力になる!

- ・ 地域の問題に関心がある
- ・ 自分の声を地域に届けたい
- ・ もっと地域に関わりたい

今こそ、地域の活動に参加して、あなたのアイデアを形にしませんか?

- ★資格要件 芽室町民であること。ただし、町外から芽室町内に在学・勤務している方も可。議会のしくみや町の行政などに関心がある方。
- ★任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ★報酬 会議に出席した際に3,300円を支給します。(居住場所によっては、別途交通費相当を支給します。)
- ★主な役割 モニター会議(モニターと議員との意見交換)への出席(年2回程度)
議会が依頼するアンケート等への回答
- ★募集人数 20名
- ★応募期限 令和7年2月28日(金)
- ★応募方法 議会事務局にご連絡をお願いします。(電話は月～金の9時～17時。正午から13時を除く。メールは住所・氏名・電話番号・件名欄に「モニター希望」と記載。)



表紙写真

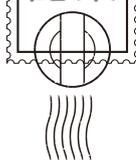
役場庁舎3階議事堂を会場に開催された市民フアシリテーター育成講座受講者による「こどもと大人の対話ワークショップ」の1コマです。「ワールドカフェ」という手法でこどもと大人が膝を突き合わせるテーマに相互の声を聴き合いました。

マニフェスト大賞優秀賞受賞

日本最大の政策コンテスト「第19回マニフェスト大賞」の議会改革部門で優秀賞を受賞しました。新嵐山の問題に対して、議会基本条例を最大限に生かした実践が評価されました。これからは議会の活性化によって役割を發揮し、町民の福祉向上につながってまいります。



後編集



■この時期、議会では次年度に向けた方針をまとめています。暦の上では春ですが、また寒い日が続きます。体調管理に十分注意をし、受験生を初め、それぞれの春到来を願って、陰ながら応援をしたいと思います。

中田智恵子



■51年ぶりの少雪ー帯広市では1月21日時点(積雪ゼロ(芽室町は1cm)、1971年以来だそうです。小麦の生育への影響に加え、春掘り用ナガイモの凍害が心配されます。これも、地球温暖化の影響でしょうか、私たちにもできることはあると思います。みんなで考えましょう。新嵐山スキー場は何とか一部コースでオープンすることができました。多くのスキーヤーに楽しんでいただけるよう、もう少し降ってほしいですね。

堀切 忠



■今年も1か月が過ぎ、自分も議員生活折返し点を目前に控え、少子高齢化が急速に進む日本・芽室町にて未来を見据えて行政と共に明るく夢の有るまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

小笠原 等

